

科目名	柔整介護実践Ⅱ					
分野	その他の分野	担当教員	北上 守俊			
開講時期	2学年 3学期	単位数	講義	実技	演習	実習
時間数	30				2	
科目の概要	<p>少子高齢社会において、近年、機能訓練指導員のニーズが高まっている。そのため、特別養護老人ホームやデイサービスなどで機能訓練指導員が活動する機会が増加している。柔道整復師の活躍が益々期待されている領域であり、本科目で知識・技能を習得する必要性が高い。下記「科目の狙い」を達成するために、講義と演習、実技をまじえて講義を行う。</p>					
学習の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 認知機能障害(認知症等)のある人の理解を深め、関わり方や支援方法を学ぶ。 2. 日常生活活動(移乗、歩行等)の評価方法や介助方法を習得する。 3. 認知機能や心理検査、QOLの主な評価方法を理解する。 4. 補装具(歩行器や杖等)の種類、使用方法を習得する。 5. 高齢者施設でのレクリエーションなどについて学ぶ。 					
成績評価の方法と基準	定期試験70%、小テスト30%					
使用テキスト	全国柔道整復学校協会(監修):柔道整復師と機能訓練指導:機能訓練指導員養成テキスト, 南江堂, 2016					
参考文献	必要に応じて紹介					
講義計画	講義内容					
1	日常生活活動(移乗、歩行等)の評価方法と介助方法①【講義&演習】 ※車椅子8台、トランスファーボード3枚					
2	日常生活活動(移乗、歩行等)の評価方法と介助方法②【講義&演習】 ※車椅子8台、トランスファーボード3枚					
3	日常生活活動(移乗、歩行等)の評価方法と介助方法③【講義&演習】 ※車椅子8台、高齢者キット8セット、T字杖5本、松葉杖5本、歩行器1台					
4	日常生活活動(移乗、歩行等)の評価方法と介助方法④【講義&演習】 ※車椅子8台、高齢者キット8セット、T字杖5本、松葉杖5本、歩行器1台					
5	日常生活活動(移乗、歩行等)の評価方法と介助方法⑤【講義&演習】 <u>小テスト①</u>					
6	日常生活活動(移乗、歩行等)の評価方法と介助方法⑥【講義&演習】					
7	摂食・嚥下障害の評価・訓練、食事動作①【講義&演習】					
8	摂食・嚥下障害の評価・訓練、食事動作②【講義&演習】					
9	高齢者施設でのレクリエーションの実践①【講義&演習】 <u>小テスト②</u>					
10	高齢者施設でのレクリエーションの実践②【講義&演習】					
11	認知症のある人との関わり方や支援方法①【講義&グループワーク】					
12	認知症のある人との関わり方や支援方法②【講義&グループワーク】					
13	主な認知機能や心理検査、QOLの評価方法【講義&演習】 <u>小テスト③</u>					
14	事例検討					
15	総合評価(まとめ)					